

令和4年 第9回 教育委員会会議録	
1. 開会日時	令和4年10月27日(木) 午後2時00分
2. 場 所	対馬市役所 峰庁舎 会議室
3. 出席委員	一宮委員、佐伯委員、齋藤委員、早田委員
4. 出席者	中島教育長、八島教育部長、扇次長兼教育総務課長、大浦学校教育課長、梅野生涯学習課長、川辺文化財課長
5. 会議書記	原田課長補佐
6. 閉会日時	令和4年10月27日(木) 午後3時15分
7. 議 事	
日程第 1	会議録署名委員の指名
日程第 2	会期日程の決定
日程第 3	教育長諸報告
日程第 4	報告第13号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について
日程第 5	その他

中島教育長	<p>皆さん、こんにちは。ただいまから令和4年第9回教育委員会会議を開会いたします。議事の進行につきましては対馬市教育委員会会議規則により進めたいと思います。</p> <p>では日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。今回の会議録署名委員は一宮委員さん及び早田委員さんを指名します。よろしくお願いいたします。</p>
一宮委員 早田委員	はい。
中島教育長	<p>続きまして日程第2「会期日程の決定」であります。お諮りします。本会議の会期は本日一日にしたいと思っております。これにご異議ございませんか。</p>
会場	「異議なし」の声。
中島教育長	<p>異議なしのようです。したがって会期は本日10月27日の一日といたします。会議運営につきましてご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>次に日程第3「教育長諸報告」を行います。資料の2ページから3ページになります。前回の教育委員会会議以降の動きについて報告をいたします。</p> <p>9月5日は校長会でした。6日の教頭会は感染防止対策のため中止としております。9月11日は鶏知中学校の運動会に出席をしました。13日から28日まで第3回対馬市議会が開催されました。今回の一般質問では、大きく2点について問われました。1点目はコミュニティスクールの設置状況で、今後の見通しに関するものでした。2点目はお船江跡を国指定の史跡にするための申請手続きの進捗状況についてでした。9月23日、24日は岡山県の総社市での赤米フェスタ、赤米サミットに市長、文化財課長と共に出席をしました。赤米サミットにおいては、対馬市の赤米の伝承が厳しい状況にあることを総社市、南種子町の関係者間で共有することができました。また、3地域が互いに助け合いながら赤米文化を次世代に伝える努力をしていくことを確認いたしました。翌25日は乙宮小学校の運動会に出席をしました。閉校前最後の運動会で、学校、地域、保護者の一体感が感じられる素晴らしい運動会でした。9月27日は第2次対馬市環境基本計画策定のためにヒアリングがありました。28日は県教委から人事異動に関する説明がありました。基本方針、実施要領の変更はありませんでした。なお、令和5年度の学級編制について1学級の人数の基本は、小学校1年生が30人、2年生から4年生が35人、5年生が40人、6年生が35人です。令和6年度からは5年生も35人となる見込みです。</p>

	<p>中学校は1年生が35人、2・3年生が40人です。9月30日は中学校体育大会の駅伝競争大会が開催されました。優勝は男女とも鶏知中学校。2位は男子が大船越中学校、女子が厳原中学校でした。選手不足から途中までの参加の学校もありました。他の市町では同一校が複数参加しているケースもあり、今後検討が必要ではないかと感じております。10月に入って、3日は校長会、5日は教頭会でした。6日は職員団体の代表者の先生方との話し合いの場を持ちました。働き方改革の推進、ジェンダーフリー教育の推進、LGBTなど、子どもへの配慮、公正なる人事評価の実現に関することなどが話題になりました。</p> <p>10月13日は第5回社会体育施設適正配置及び利活用推進委員会が開催されました。答申書の素案をお示しし、ご意見をいただきました。次回で答申書はほぼ完成に近いものができるものと思います。10月19日は鶏知中学校の学校経営訪問でした。先生方が熱心に指導に取り組まれている様子、生徒が真剣に授業に参加している様子を見ることができました。特別支援学級の指導にも苦勞されており、引き続き助言や支援が必要であると感じました。10月20日と21日は九州都市教育長協議会に出席しました。鹿児島市で行なわれ、九州各地から89名の教育長が参加しておりました。文科省からは初等中等教育施策についての講話がありました。研究会では3つの部会に分かれ、それぞれ2つの教育委員会から各市における実践の紹介がありました。24日は県市町教育委員会連携会議がオンラインで開催されました。次年度の新規事業、拡充事業の案について意見交換を行いました。10月25日は校長先生との中間面談でした。今年度からは新任の校長先生、それと希望する校長先生のみを対象に実施することとしております。学校教育課長と共に4名の校長先生方と面接を行いました。校長初任、新任校長先生の着任から半年が過ぎ、ゆとりをもって学校経営をされている様子がうかがえました。昨日26日は金田小学校の学校経営訪問でした。環境整備がよくできており、少人数の良さを生かしたきめ細かな指導、丁寧な対応ができている印象を受けました。</p> <p>以上で諸報告を終わります。報告事項について何か質疑等がございましたら、「その他」の項でお受けしたいと思います。</p> <p>続きまして日程第4、報告第13号「要保護及び準要保護児童生徒の認定等について」を議題とします。事務局から報告をお願いします。</p>
大浦課長	教育長。学校教育課長。
中島教育長	学校教育課長。
大浦課長	はい、4ページをご覧ください。経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒について、対馬市就学援助事務取扱要綱の規定によ

	<p>り要保護及び準要保護児童生徒として認定等を行なったので、報告いたします。資料5ページ、6ページをご覧ください。なお校種別、学校別の児童生徒の氏名等については別にお配りしている資料をご参照ください。この資料についてはこの会終了後に回収いたしますことをご了承ください。今回は令和4年8月1日現在の認定者数と令和4年10月1日現在で認定した要保護及び準要保護の人数を報告します。小学校の準要保護認定者は8月1日現在の認定者が168名、10月1日現在の新規認定者が1名、認定取り消しとなった者が4名で、合計165名となっております。中学校の準要保護認定者は8月1日現在の認定者が102名、10月1日現在の新規認定者が2名、合計104名となっております。次に要保護についてです。小学校の要保護認定者は8月1日現在の認定者が9名、10月1日現在の新規認定者はいませんでした。中学校の要保護認定者は8月1日現在の認定者が11名、10月1日現在の新規認定者はいませんでした。報告は以上です。</p>
中島教育長	はい、報告が終わりましたが、この件に関して質疑等はありませんか。
会場	「ありません」の声。
中島教育長	<p>質疑等ないようですから、報告13号「要保護及び準要保護児童生徒の認定等についての報告は終了いたします。</p> <p>続きまして日程第5「その他」の項に移ります。まず始めに、各課の事業予定を報告させていただきたいと思えます。お手元に11月分の事業予定表を配付しておりますのでご覧ください。それでは教育総務課から順に主な内容について報告をお願いします。</p>
扇課長	教育長。教育総務課長。
中島教育長	教育総務課長。
扇課長	<p>失礼いたします。教育総務課の11月の行事予定を説明させていただきます。まず11月1日、これは10月31日からの引き続きとなりますけれども、教育委員の皆様も参加されます、市町村教育委員会研究協議会が長崎市において行われます。16日、17日につきましては壱岐市で長崎県都市教育長協議会が開催される予定となっております。11月24日に次回の教育委員会会議を予定しております。11月28日に対馬市議会の臨時会が開催される予定となっております。月間業務の予定につきましては、令和5年度の当初予算の編成作業を行うこととなります。次に島っこ留学の募集受付業務、これが12月の28日まで受付としておりますので引き続き行っていきたくと思えます。奨学金予約の申込受付業務、これも12月28日までの受</p>

	<p>付期間となっておりますので随時受け付けてまいりたいと思います。</p> <p>次は予定ですが、豊小学校の統合に係る保護者説明会の日程調整を行っておりますので、できれば11月中に開催したいと思ます。教育総務課からは以上でございます。</p>
大浦課長	教育長。学校教育課長。
中島教育長	学校教育課長。
大浦課長	<p>それでは学校教育課関係です。11月2日、仁田中学校の研究発表会が行われます。教科は特別の教科、道徳になります。4日、定例校長会、これは午前中に実施をします。午後から対馬市の校長研修会が開催されます。同じく、豊小学校で教科指導法改善研修会が開催されます。11日、第3回幼稚園・こども園園長会です。15日、初任者研修として内容は教科研修となりますが豊玉小学校で開催されます。16日、第2回保健主事部会です。17日、新規採用養護教諭学校訪問で県教委が久田小学校と大船越小学校を訪問します。18日、対馬市教頭研修会です。22日、東小学校の研究中間発表会が開催されます。教科は国語科です。25日、教科指導法改善研修会が豆敷中学校で開催されます。教科は国語科です。追加をお願いします。28日です。第2回対馬市部活動のあり方に関する検討委員会が開催されます。もう一度繰り返します。28日、第2回対馬市部活動のあり方に関する検討委員会が開催されます。よろしいでしょうか。それでは29日、学校経営研究訪問で仁田小学校を訪問します。30日、第2回生徒指導主事・生活指導主任研修会が開催される予定となっております。以上です。</p>
梅野課長	教育長。生涯学習課長。
中島教育長	生涯学習課長。
梅野課長	<p>それでは生涯学習課関係の行事予定についてご説明させていただきます。まず11月3日、みつしま町文化まつりが美津島体育館で開催される予定です。11月5日、6日にかけて、豊玉町文化祭が豊玉文化会館で開催される予定です。11月6日、厳原町文化まつりが対馬市交流センターで開催されます。同じく11月6日、豊玉町民芸能発表会が対馬市公会堂で開催されます。11月7日から8日にかけて、長崎県社会教育研究大会が長崎市で開催されます。11月14日、市P連教育懇談会を峰行政サービスセンターで開催する予定でございます。市P連からの申し入れに応じまして、市P連と教育委員会での教育懇談会を開催する予定としております。それから11月27日、対馬少年の主張大会を本年度は峰地区公民館で開催をします。会場が例年、豊玉の対馬市公会堂で行っていましたが、公会堂では郷</p>

	<p>土芸能発表大会が開催されますので、今年度は峰地区公民館の2階講堂での開催を計画しております。それから月間業務といたしましては令和5年度の当初予算編成作業を行う予定としております。生涯学習課は以上でございます。</p>
川辺課長	<p>はい、教育長。文化財課長。</p>
中島教育長	<p>文化財課長。</p>
川辺課長	<p>文化財課の11月の事業の予定を発表します。11月の8日に、大阪府の泉佐野市の方々が来庁されます。これは江戸時代に泉佐野の人たちが対馬にやってきて、事業をしたり商売をしたり漁をされていたらしく、それを縁に市で交流事業をしたいという泉佐野市長の熱い希望があっているようなので。実は何年か前から言ってこられていたのですが、コロナで交流ができなくて、ようやく2、3年ぶりくらいに対馬にご一行がいらっしゃるということです。ちなみに厳原町の大手橋にある、佐野屋橋とかあの辺に泉佐野の方々が大勢住んでいて商売をしていらっしゃるということを聞いています。豊玉町のオロシカ湾の周辺にも泉佐野から来た人たちが住んでいたという痕跡が残っているということです。あとはですね、11月11日から27日まで対馬博物館で遺跡写真のパネル展を開催いたします。29日から12月の12日まで場所を変えて、上対馬の公民館で同じくパネル展を実施する予定にしています。あとは11月23日に縄文文化シンポジウムを対馬市交流センターで実施いたします。熊本大学とか同志社大学の縄文文化を主に研究していらっしゃる先生方が来られてシンポジウムを行います。地元からは上対馬高校の長崎さんが出演、参加してくれる予定です。26日は縄文遺跡のバス見学ツアーを開催します。27日は豊玉町で郷土芸能発表大会が開催されます。これはですね令和元年第29回を最後にやめますということだったのですけれど、周囲からもったいないからなんとかという声が多くてですね、コロナ禍で何もできなかったからやはり皆さんがさみしいと思っいらっしゃるのかもしれない。なんとかまた頑張ってみようということで、今年は第30回になります。よかったらみなさん応援に行ってください。以上です。</p>
中島教育長	<p>はい、事業予定の報告が終わりました。この件に関して質疑等はないですか。はい、佐伯委員さん。</p>
佐伯委員	<p>はい、佐伯です。2点ですね。1つは教育総務課の島っこ留学の状況なのですけれども、里親さんの確保に苦勞していらっしゃるということで、客観的に見て事業もちょっと曲がり角に来ているのかなという印象も受けておりますので、今後の予定というかり親さんの数とかその</p>

	あたりを教えていただきたいなというのが1点ですね。もう1点は文化財課さんで豆穀の赤米の保存については時々話が出ていて、集落中の問題でもあり、行政としてもあまり着手しにくいという部分は重々聞き及んではいるんですけども、このままではおそらく途絶えるという可能性が非常に高くなっていくのかなというところで、なんらかの音頭をとるなり何だかしていけないといけないのかなということを検討していただいた方がいいのかなと感じております。その2点についてお考えを聞かせていただければと思います。
扇課長	教育長。教育総務課長。
中島教育長	教育総務課長。
扇課長	まず、島っこ留学の関係について私から先に回答させていただきます。今の状況といたしましては、令和5年度の留学生を募集しております。で、現状といたしまして里親が1軒見つかりまして、西津屋の方なんですけれども、ですから今から募集をかけるのは佐須奈小中学校を対象とした子どもになります。一応1軒なんですけれども、受け入れは2名まで大丈夫ということで、今年度については今現在2名まで募集をかけております。来年度以降の考え方といたしましては、対馬市島っこ留学推進協議会という会でこの事業を組み立てていますが、今年度の会議の中で基本は複式学級をなくすためにそういった学校に入ってもらうために今までやってきたわけなんですけれども、ひとつの考え方として、里親を中々見つけるのが難しい状況であれば、それに縛られずに対馬市全体の学校を対象として例えば厳原でも里親を希望される方がおれば、厳原でも受け入れるとか、そういう考え方もしてもいいんじゃないかとの意見をいただいておりますので、来年度に向けてその辺を整理していきたいと思っております。以上です。
佐伯委員	ありがとうございました。
川辺課長	はい、いいですか。
中島教育長	はい、どうぞ。
川辺課長	佐伯委員からご質問がありました、赤米の今後のことについてなんですけれども、赤米については、神事についてはもう今の状態ではどうしようもできないと思っております。種(しゅ)の、種(たね)ですね、種の保存については当面の間はバケツ栽培ということで豆穀小学校の小学生たちに協力をいただきながら、なんとか種だけはつないでいこうということで、先日の赤米サミット、赤米連絡協議会の折にも関係市町にも同意をいただいて、そういう方向で進めていくようにしております。なので、少しずつではあるんですけども、毎年ご神田の

	<p>土を使って取ってきてバケツで栽培するというので、豆殿小学校の児童たちがそれを一人1個バケツを、観察もできるっていうのはあるんですよ、すぐ目の前にあるので。できることなら、地域の協力を得ながら田んぼで植えたいというのはあるんですよ、ほんとはですね。ただそれを協力してくれる、サポートしてくれる方が必要になってくるので、近くの方じゃないとそれも難しいし、なんとかそこができればいいのかなとは思っておりますけれども。方向としては種の保存を行政としては協力して進めていくというところで、そういう方向でまともまっています。</p>
佐伯委員	追加で一ついいですか。
中島教育長	はいどうぞ。
佐伯委員	総社市とか南種子市とか、別のところでは神事というのは執り行われているんですか。
川辺課長	<p>そうですね、神事と言ってもですね、総社とか南種子とかは、神様にお供えするために栽培している。豆殿は神様そのものなので、神事の中身が違うんですよ、深さがですね。向こうも神事なんですよ、神社の神殿で植えて保存会がしてますので、神事の中身の濃さとかが微妙に豆殿とは違うところで、向こうは穫れた赤米を使って商品開発したり、品種改良して赤が凄く目立つ見栄えのする赤米を作ったりとかしているんですよ。地域おこしにも使っているのですけれど、うちは商業的なことはできないので、ひとつ、それも普及、活用できないところがネックにもなっているところでもあります。本質的なものがちょっと違うからですね。</p>
佐伯委員	わかりました。ありがとうございます。
中島教育長	はい、その他委員さんからありませんか。
早田委員	早田です。
中島教育長	早田委員さん、どうぞ。
早田委員	<p>関連してその赤米の、川辺課長さんもちょっと言われましたけれど、田んぼでなんとか栽培できないかなと、ケーブルテレビで様子を見たり、新聞で報道されているのを見たら、ちょっとやっぱり寂しいな、バケツで栽培してるというのがですね、米の伝来を伝える赤米がバケツで栽培されているというのが非常にギャップがあるように思えてならないので、なんとか本当は田んぼでですね、近くの田んぼで栽培できれば、そうすれば子供たちにも田植えという活動ができて、ギブアンドテイクといいますか、学校側にも協力してもらおうという面でもいいんじゃないかなと思うんですね。そこをこれは学校の努力もちょっと</p>



	<p>必要かなという気もしますが、田んぼで栽培できるようになったらもっともっとアピール度が違うんじゃないかなという気がします。それを願いたいと。</p>
川辺課長	<p>赤米を作っていた、ご神田があった田んぼがあるじゃないですか、その周囲の田んぼが一斉に耕作をやめて。用水路に水が前は引かれて流れてたんですけど、それもストップしてしまっているんです。  （「割れてますよね。あそこは」との応答。）だから一面もう、セイタカアワダチソウの畑みたいになっているんですよね。ですので、今、なんとか赤米を植えていたご神田のところだけ、たまに草刈りとかをたまにお願いして、ボランティアの方がしてくれたりするんですけども、すぐ草が生えてくるし、周囲の田んぼがお米を作っていたらちょっと協力をお願いすることもできるのかもしれないですけども、地域が急にそんな感じになってしまっているからですね。そちらのほうの問題もあるのかなという感じなんですよ。</p>
早田委員	<p>あの神田の土じゃないといけないんですか。</p>
川辺課長	<p>やっぱり、そうですね。そうじゃないと文化財課が所管していますのでちょっと難しいところなんですよ。</p>
	<p>(音源切替)</p>
齋藤委員	<p>はい</p>
中島教育長	<p>はい、齋藤委員さん、どうぞ。</p>
齋藤委員	<p>部活動のあり方についてなんですけれども、第1回の内容とか、もし決まったこととか進捗状況とか、簡単でいいので教えていただきたいなと思います。</p>
大浦課長	<p>はい。</p>
中島教育長	<p>はい、学校教育課長。</p>
大浦課長	<p>第1回はですね、委員さんを招集して、委員長の選出とか委員さんの顔合わせをしております。それで、決めたことは、とりあえずアンケートを実施するというので、もうすでにアンケートは保護者、それから小学生の5年生以上の児童、生徒に実施をしております。それで保護者さんの方にもしております。もう大方、集計はされていて、これが第2回目この11月28日にアンケートの内容についての確認をして、また今後どうしていくという形で進めていくと思います。</p>
齋藤委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
中島教育長	<p>そのほかございませんか。一宮委員。</p>
一宮委員	<p>はい、一宮です。生涯学習課と文化財課の方に。27日が少年の主張大会の審査員の依頼が来ていたなと思ったら郷土芸能発表大会も同一</p>

	<p>日なのですね。同じ教育委員会でどちらも観覧に来ていただきたいものですよ。少年の主張大会も、子供が少なくて今ずっと悩んでるんですよ。文化財課の郷土芸能発表大会も途絶えたものをまた、ということで、すごく大事なものが、どうして同一日になっているのか、日にちがずれなかったのでしょうか。</p>
川辺課長	はい、いいですか。
中島教育長	はい、文化財課長。
川辺課長	<p>郷土芸能発表大会はですね、教育委員会が後援はしますけれど、主が外郭外部の団体になっていて、日程決めとか調整はそちらのほうでしています。今までの11月の最後の日曜日というのが決まっていたみたいですね、この日にちを変えてくれと、うちから言うのは現実問題として難しいところですね。</p>
中島教育長	はい、生涯学習課長。
梅野課長	<p>すみません。対馬市少年の主張大会の日程につきましては、以前は文化祭時期に各町の予選をし2月に開催をしておりましたが、もう予選をなくして各中学校からの1名の代表で実施をします。その時に各学校とも調整をした結果、11月の最終日曜日に、ということで決定をしておまして、この日に開催をするということはもう慣例的にここ何年かやっているような状況でございます。日程をかわせということで、前倒しの20日は家庭の日になりまして、そこにはあまり入れられない。その次の週の12月のあたまになると、また別の生涯学習課の事業としまして、じんけんを考えるつどいが、そこが人権週間ということでそこに事業が入っておりまして、中々、別日程とすることができず、また会場のほうは、郷土芸能発表大会がやはりステージで行うということもあり、我々よりも先に会場を押さえられておまして、郷土芸能発表大会をやろうと決定した時点で押さえられていたみたいです。実際、過去の郷土芸能発表大会でもこの11月の最終日曜日が基本的に開催日ということで、ちょうどこの部分が重なったというような状況でございます。以上でございます。</p>
中島教育長	はい、一宮さん。
一宮委員	<p>今課長さんがおっしゃった経緯はわかるんですけども、その生涯学習課の少年の主張大会の町大会をなくし、市に一本化した時点で期日をすごく検討されたんですよ、全体で。それでもう第4のここが一番いいだろうと決まっていたんですよ。文化財課も、では郷土芸能発表大会を、今年は実施しようとなった場合には、お互いの業務の中でわかっているはずだから、それを生涯学習課長さんが実はここはこのイ</p>

	<p>ベントなのですよと、たとえば文化財課長さんにお伝えするなりしておくと、郷土芸能の地域の人が決定する時点で考慮するなりできないものかという。そういう横の連携、縦の連携というものがあってこそ初めて、いろんな、動員したり観客を集めたり継続するのに大事なかなと思うんですよね。だからもし、たまたま今年はぶつかったから仕方ない、でも来年もまた続けるとなったらお互いがそこになりますよ。そこがすごく気になるところです。</p>
梅野課長	<p>教育長。生涯学習課長。</p>
中島教育長	<p>生涯学習課長。</p>
梅野課長	<p>その郷土芸能保存会といいますか、そちらのほうへ27日は少年の主張大会ということで、日にちをずらすことはできないか、事務局長さんにも相談をさせていただいたんですけれども、ほかのホールの空きもなかったのかどうかでちょっと変更が叶わなかったという状況でございます。</p>
一宮委員	<p>すいません、一宮です。</p>
中島教育長	<p>はい、一宮さん。</p>
一宮委員	<p>今後もこういうことがあると思うんですよね。できる限りの調整を早めの段階でお願いします。</p>
中島教育長	<p>この郷土芸能発表大会はまた来年もあるんですかね。</p>
川辺課長	<p>わからないです。多分ですね、体力的にももう高齢者が多いですからね、2年に1回くらい。毎年になるときついと思います。長く続けてほしいので、無理しないような形で続けてほしいので、2年に1回くらいになると、そういう方向でいっているんで、そうなると思います。</p>
中島教育長	<p>令和元年度に29回で終わってしまっているんで、きりのいい30回はしたいというような経緯ですかね。</p>
川辺課長	<p>いや、そういうわけではないです。前回は29回でこれを最後にするとおっしゃったんですけれど、市長もなんとか30回まではと言われたんですけれども、いやもうしきらんということだったんですよ、前回は。でもやっぱり皆さんから惜しまれる声が多くて、そしたら頑張ってみようかということで、今年はしてくださる。で、毎年が無理やったらもう2年に1回でもいいやないですかと。発表の場がなくなったらもう消えてしまいますからね。</p>
中島教育長	<p>主催者が決めることで、あまり私たちがこうこうというわけにはいきませんね。20日は家庭の日ということで極力入れないでしょうからですね。そして13日がここには書いてないですけども、幼小中高PTAの合同研修会で豊玉は埋まっているんですね。</p>

佐伯委員	11月はいろいろ多いですね。
川辺課長	11月は多いですもんね。
中島教育長	また来年度行事を決めるときに、可能な範囲で調整できるように私たちも気がけてまいりたいと思います。
一宮委員	そうですね、子供たちの発表する場がその年その年で変わるのもかわいそうですしね。
中島教育長	はい、そのほかありませんか。
佐伯委員	あ、教育長すみません。
中島教育長	はい、佐伯委員さん。
佐伯委員	生涯学習課さんの上県、上対馬、ほかの地域の文化展、文化祭はないんですか。
梅野課長	いえ、あります。すみません。先月の教育委員会会議がなかったものですから、峰町と上県、上対馬については、今週の土日が開催予定になっています。
佐伯委員	はい、ありがとうございます。
中島教育長	はい、委員さんからそのほかなにかありませんか。事務局から何かその他の事項ではありませんか。では委員さんからその他の事項で何かありませんか。
	(音源切替)
中島教育長	再開します。これで終了しますが、次回の件で事務局からお願いいたします。
事務局	はい、失礼します。11月24日木曜日14時から場所は対馬市役所峰庁舎2階第4会議室を予定しております。
中島教育長	次回の会議日程について提案がありましたが、皆様のご都合はよろしいでしょうか。
会場	はい。
中島教育長	それでは次回の会議を11月24日木曜日に開催します。開始時刻は14時から対馬市役所峰庁舎第4会議室の予定ですが、後日事務局からあらためて通知いたします。これで本日の日程は全部終了しましたので会議は閉じます。 以上で令和4年第9回対馬市教育委員会会議を閉会いたします。お疲れ様でした。
会場	お疲れ様でした。

